



「自分の仕事」を見つけよう

8月24、25日に5年生が野外活動「キャンプ」に出かけます。先日、飯ごう炊さんの練習をしました。薪で火をおこし、飯ごうでご飯を炊きカレーライスを作りました。その様子を見ていて、普段の私たちの生活は、調理ひとつ取ってみても本当に便利だと感じました。一方で苦勞して作るからこそ、キャンプのご飯の美味しさは格別なのかもしれません。

乙川小のみなさん、夏休みに家で食事作りに挑戦してはどうでしょう。5年生はキャンプの練習にもなりますし、5年生以外の子も食事作りのお手伝いは、家族に喜ばれると思います。

また、食事作り以外でも掃除や買い物など、これならできると思ったお手伝いにどんどん挑戦しましょう。できれば、「お手伝い」ではなく「自分の仕事」になるくらい毎日できることを見つけられたら素晴らしいですね。「お手伝い」と「自分の仕事」の違いは、「お手伝い」は誰かに頼まれてすることで、「自分の仕事」は言われなくても責任をもってやることです。

「自分の仕事」が見つかるといいなあ。

普段できないことに挑戦しよう

昨年は入れなかったプールに、楽しそうに入っている子たちを見て、夏休みには普段できないことに挑戦してほしいと思いました。1、2年生の子は水に顔をつけられますか？来年はきっと体育で水泳指導があると思いますから、顔に水がかかっても平気になるよう練習するといいですよ。洗面器に水を入れて、まずは10秒、顔をつけるところから挑戦してみましょう。

水泳以外にも興味のあるスポーツや、経験のないスポーツに挑戦できるのが夏休みです。今年はオリンピックパラリンピックがあるので、多くのスポーツを知る良い機会になりますね。

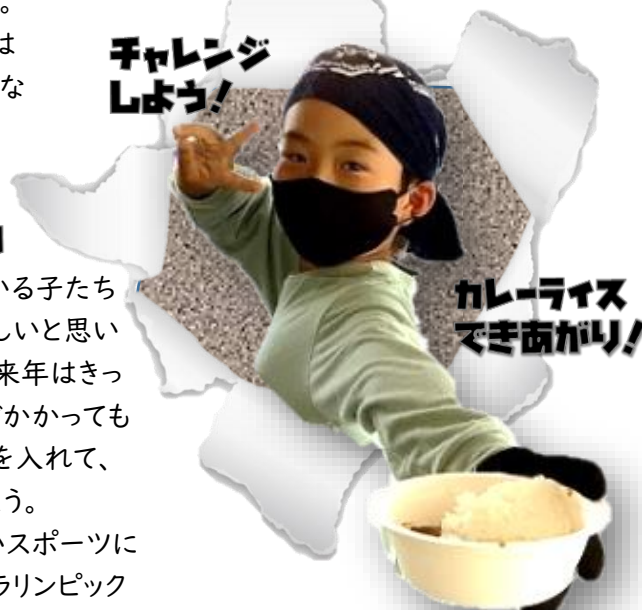


プールに入って水遊びをする3年生



今年の夏休み

チャレンジ
しよう！



カレーライス
できあがり！

みんな何する？

本を読むのもいいですね。ぜっこうちようだよりの7号8号で紹介した先生たちのおすすめ本も参考にしてください。虫の好きな子は1か月育ててみましょうか。できれば日記みたいに毎日記録をしておくといいよ。絵を描くのが好きな子は、ポスターなどの作品募集に挑戦してみましょう。見事に入賞した子がいたら、2学期の朝礼で表彰しますよ。

みんなのチャレンジを楽しみにしています。

命を守る

先生たちが、6月に心肺蘇生法の訓練をしました。心肺蘇生法とは、心臓や呼吸が止まってしまった人を救うための訓練です。消防署の方に講師として来ていただき、緊急時の対処法を学びました。例年、この訓練は行っているのですが、去年は水泳指導ができないことで、訓練も行いませんでした。今年も水泳の指導はしませんが、水泳以外でも緊急時はあり得ると考え実施しました。



全員交代で人形を使って、胸骨圧迫やAEDの使い方など心肺蘇生法の基本を確認しました。

体育の授業中に子どもが倒れたという設定で、応用訓練をしました。担任役のR先生が、倒れた子の反応を確かめ胸骨圧迫を始めます。学級代表役のN先生に他の子どもたちが近づかないように指示を出し、近くにいたY先生に職員室へ応援を依頼します。職員室から駆けつけたM先生は携帯電話で119番通報し、AEDを持ってきたS先生が電気ショックを与えます。その間もI先生とA先生が胸骨圧迫を交代しながら続けます。このように実際にやってみると、反省点が見えてきます。こんなことが起きないことが一番ですが、万が一のときには、救急車が到着するまで全力で命を守ります。



おっかわいいね ♥

おぼれたらどうする? の巻

